

「SIV（シーフ）」利用規約

有効日：2021年1月

更新日：2021年1月

この利用規約（以下、「本規約」といいます。）は、株式会社エルックス（以下、「当社」といいます。）がウェブサイト上で提供するサービス「SIV（シーフ）」（以下、「本サービス」といいます。）の利用条件を定めるものです。お客様は利用者登録をする前に本規約のすべての条項を読み、同意する必要があります。同意すると契約が完了し、利用者登録をすることができます。その後、登録利用者の皆さま（以下、「利用者」といいます。）は本規約に従い、本サービスをご利用いただくものとします。

本規約に違反があった場合、当社は利用者に対してサービスを一方的に制限、停止、終了する権利、利用者に関する責任を調査する権利を有します。

本規約に重大な改定や変更があった場合、当社は変更した旨を公式サイトなどに掲載し、お知らせいたします。改定や変更不同意の場合は、ただちに本サービスの利用を中止してください。利用を継続した場合、それらの変更同意したものとみなされます。

I. 第1条（用語の定義）

1. ライセンスソフトウェアとは、プラットフォームからダウンロードして、特定のシステムのモバイル端末にインストールし適用するソフトウェアシステムを指します。
2. サービスとは、当社が利用者に提供するサービスを指します。ライセンスソフトウェアを利用してモバイル端末上で使用することができます。

II. 第2条（サービスに関して）

1. 当社は、「SIV（シーフ）」（スマートフォンアプリ）を通じてクラウドプラットフォームのインテリジェント端末にアクセスし、インテリジェント機器間の相互リンクを実現する、インテリジェント生活機器管理サービスを提供します。サービス内容には、インテリジェント機器管理、シーン連動、分析レポートなどがあります。利用者の要求の変化やサービス提供者の判断に応じてこれら機能は最適化や変更が可能であり、定期または不定期のメンテナンスにより、サービスの供給が中断されることがあります。

III. 第3条（サービスの範囲に関して）

1. 当社は、このソフトウェアに基づいて製品を使用する権利を利用者に付与します。
2. 利用者は、ライセンス、販売、リース、譲渡、様々な形態においての本製品やサービスの支給、その他の商業目的で、本製品やサービスを利用することを禁じられています。またこのソフトウェアは、許可されたシステムプラットフォームおよび端末上でしか使用できません。このソフトウェアを他の端末装置にインストールすると、ハードウェアまたはソフトウェアの機能が損なわれる可能性があります。
3. このソフトウェアは非商用目的でのみ使用され、商用目的でのインストールや利用は禁止されています。商業上での運営が必要な場合は当社から、書面による事前の許可を得なければなりません。
4. 当社はライセンスソフトウェアまたは関連機能を変更、アップグレードまたは移転することがあり、ライセンスソフトウェアシステムに新しい機能またはサービスを追加することがあります。
5. 入力データの正確性、信頼性、完全性、合法性、およびデータの入手方法の合法性については、利用者が責任を負い、データと情報を定期的にバックアップするものとします。利用者は、情報の損失および紛失のり

スクをすべて負うものとしします。

6. アカウントの管理について、利用者自身がすべての責任を負い、アカウント情報、パスワードなどを正しく管理・保管しなければなりません。利用者パスワードなどの漏洩があった際は、利用者はすみやかに当社に通知し、当社は適切な措置を講じるものとしします。

IV. 第4条（第三者（サードパーティー）に関して）

1. 当社の特定のサービスは、サービスの提供を目的とし、第三者（サードパーティー）と協力・連携し、サービスに必要なソフトウェアまたはサービスを利用者に提供しています。利用者はこれを承諾の上、サービスを利用することとしします。
2. 本製品には、第三者の特定の情報およびサービスが含まれています。当社は、その第三者の情報およびサービスに対して統制はせず、また責任も負いません。
3. 利用者は、ライセンスソフトウェアが常に同じサービスを提供できない、また第三者によって提供されるソフトウェアが永続的に使用されることを当社が保証するものではないことを承諾するものとしします。また、第三者や当社以外の他社が同様のサービスを提供することがありますが、当社には関係がなく、本規約はあくまでも当社の提供するソフトウェアまたはサービスが対象となります。

V. 第5条（サービス基準に関して）

1. ライセンスソフトウェアを使用する際、以下のような行為は違反行為となります。
 - a. コンピューターシステムやデータを故意に毀損または変更する。コンピューターウイルス、ワーム、悪意のあるコードまたはソフトウェアを発行または共有すること。
 - b. Eメールアドレスなどの情報、または他の利用者の情報を収集すること。
 - c. 悪意をもって製品やサービスを利用し、サーバーへの負荷を高めたり、他形式のウェブサーバーやネットワークを妨害したり破損したりすること。
 - d. 製品のサーバーデータ、または通信データを無許可で利用しようとする事。
2. 利用者は、以下の内容を理解し同意するものとしします。
 - a. 当社は、利用者が上記の基準違反に関与しているかどうかを判断し、結果に応じてサービスを一時停止または終了させるか、本規約に従いその他の制限を設けることがあります。当社は、利用者がこのソフトウェアを使用するにあたり、法律に違反したり、他人の法的権利を侵害したりした場合、関連する情報を直接削除することができます。
 - b. 申請基準の違反により第三者が被害を受けた場合は、利用者の名前で法的責任を独立して負うとともに、そこから発生した損失または追加費用から当社を守り補償するものとしします。それ以外の場合、当社は補償を請求する権利を有します。
 - c. 当社が関連する法律または本規約の違反に起因する損失を被った場合、利用者は損失およびそれに起因する費用を当社に補償するものとしします。

VI. 第6条（情報コンテンツの基準に関して）

1. 利用者は、本サービスの利用し、以下の行為を行ってはならないものとしします。また、利用者の故意や過失により当社に損害が生じた場合、利用者に当該損害の賠償を請求することができるものとしします。
 - a. 当社や第三者の財産、プライバシー、肖像権、知的財産権またはその他の権利を侵害する、また侵害するおそれのある行為。
 - b. 第三者を差別もしくは誹謗中傷し、その名誉や信用を毀損する行為。
 - c. 第三者に広告、宣伝、勧誘のメールや迷惑メールを送信する行為、または、第三者が嫌がる行為。
 - d. 第三者になりすましてサービスを利用する行為。

- e. 当社もしくは第三者のインターネット接続サービス、もしくは運営に支障を与える行為、または与えるおそれのある行為。
- f. 詐欺などの犯罪に結びつく、またはそのおそれのある行為。
- g. アダルトコンテンツ、児童ポルノまたは児童虐待に関連した情報を送信または掲載する行為
- h. 情報を改ざん、消去する行為、またはそのおそれがある行為。
- i. 連鎖販売取引（ネズミ講、マルチ商法）などにあたる行為。
- j. ウイルス等の有害なプログラム等を送信または掲載する行為、またはそのおそれがある行為
- k. 本サービスの利用、サービスへのアクセスについてその一部または全部を商業目的で利用（使用、再生、複製、複写、販売、再販売などの形態の如何を問わず）する行為。
- l. その他法令もしくは公序良俗に違反（売春、暴力、残虐等）し、または当社もしくは第三者に不利益を与える行為。
- m. 故意に前項目に該当する行為を助長する行為。

VII. 第7条（個人情報とそのデータに関して）

1. 当社は、プライバシーポリシーを作成し、利用者の情報の所有権および知的財産権の保護、収集、使用、共有、保管および保護などに関するコンテンツを開示しております。当社サービスのプライバシーポリシーを確認し、承諾することとします。本規約同様、ご承諾いただけない場合は、本サービスの利用中止のご検討をお願いします。

VIII. 第8条（例外条項）

1. 当社は、ライセンスソフトウェア、技術、および情報セキュリティ、妥当性、正確性、信頼性を確保するために最善を尽くしますが、社会情勢や第三者などによる技術の制限を受けた場合、法律で特に定めがない限り、これを継続することを保証できません。
2. 当社は、第三者による本サービスへの侵害、第三者の不履行による損失などの不可抗力に対しての責任を負いません。
3. 以下に関連する損害、または偶発的、または間接的な損害が合った場合、利用者自身にて責任を負うものとします。
 - a. 利用者が第三者によってライセンスソフトウェアを許可なく利用され、データを変更されたとき。
 - b. ライセンスソフトウェアを使用して発生した費用および損失。
 - c. 利用者の誤解により発生した費用および損失。
 - d. 当社に起因しない理由によるライセンスソフトウェアに関する損失。
4. 当社によって開発、または当社から提供されていない、他のライセンスソフトウェアから派生したソフトウェアは、当社で認識されていないソフトウェアとなります。このようなソフトウェアをダウンロード、インストール、使用すると、予期しない損害が発生する可能性があります。当社はその損害により発生した法的責任は負わず、本サービスを一時停止または終了させることができます。
5. 当社および、サービスを提供する第三者が有するプラットフォームを使用するにはインターネットに接続する必要があり、それらに関連する不安定な要素の影響を受ける可能性があります。本サービスは、インターネットおよび電子通信の本質的な欠陥ならびに本規約の当事者の合理的な管理を超えた場合、アプリケーションの制限または障害によって中断、中止される可能性があります（火災、洪水、テロ攻撃、疫病、自然災害、暴動、ターミナルウイルス、ハッカー攻撃、ネットワーク障害、ターミナル障害を含みますが、これに限定されません）。利用者は上記の障害の可能性があることに同意し、また通常のサービスの実行が前述の障害の影響を受けた場合、当社はいかなる責任からも免責されることに同意するものとします。

IX. 第9条（規約違反に関して）

1. 利用者は、本サービスを利用する場合、ライセンスソフトウェアを利用規約に従って利用し、ソフトウェア

に含まれる情報やコンテンツの知的財産権を尊重し、本規約に従って義務を履行しなければならないことに同意することとします。本規約において重大な違反があった場合は、当社は本サービスを停止または終了させることができます。

2. ソフトウェアの利用は、第三者（サードパーティー）によって提供されるサービスに依存します。当社およびその第三者の条項、合意、規則、告知などの関連規則に違反すると、ソフトウェアの利用に支障をきたす可能性があります。その場合、当社は本サービスの停止または終了させることができます。
3. 本規約の合意内容において違反が生じた場合、当社は本サービスの一部または全部の提供を中止または終了し、利用者の権利と利益に対する制限的措置の実施要求を関連会社に通知し、当社が管理するウェブサイト上で利用者の合意違反を法的に告知する権利を有します。
4. ライセンスソフトウェアは、適用方法および制限について、ダウンロードプラットフォーム、システムプラットフォームおよび端末製造の規定を遵守しなければなりません。上記の第三者（サードパーティー）が、利用者が規約違反であることを確認し、必要な場合は、当社は第三者の要求により、本サービスを停止または終了させることができます。
5. 利用者が本規約の条件に違反し損失に至った場合は、利用者はすべての補償責任を負う必要があります。

X. 第 10 条（準拠法）

1. この規約に関する準拠法は、すべての日本国法が適用されるものとします。

XI. 第 11 条（専属的合意管轄裁判所）

1. 利用者と当社の間で訴訟の必要性が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。